

島根県益田市種地区

地域づくりのテーマ：地域の特性と自然を生かし、「ひとつの輪」になった「むらづくり」



①地区の概要

【地区の現況】

人口・高齢化率(令和6年1月末時点)

人口:223人 高齢化率:48.4%

【地区の魅力】

- ・中山間地域に位置し、伝統芸能の種神楽と自然を活用(さくらあじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区です。
- ・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区です。
- ・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送しています。

【地区の課題】

- ・人口減少・少子高齢化
- ・後継者、担い手不足
- ・鳥獣害対策
- ・高齢者、子ども支援
- ・耕作放棄地の増加
- ・小学校の跡地有効利用
- ・空き家対策

②実施団体の概要

【団体の名称】

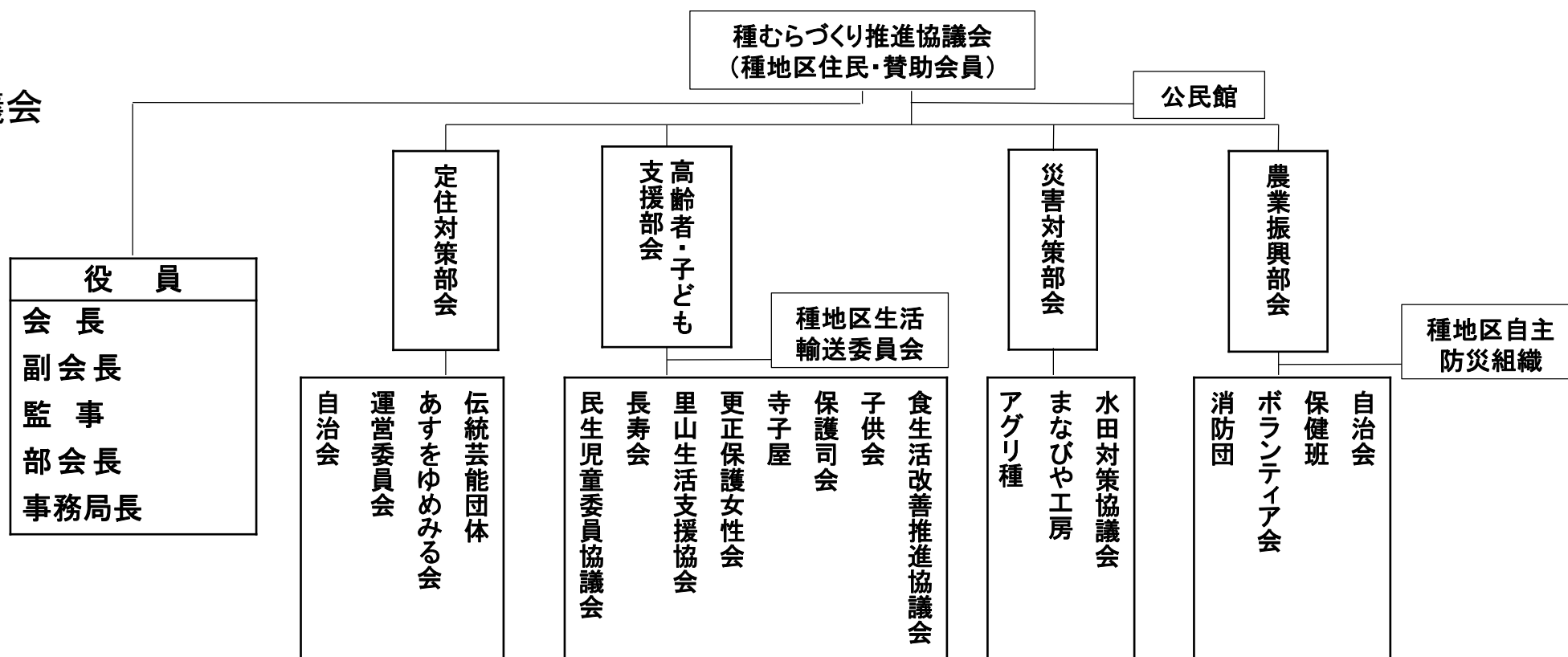
種むらづくり推進協議会

【構成団体、構成員】

右図参照

【団体の組織図】

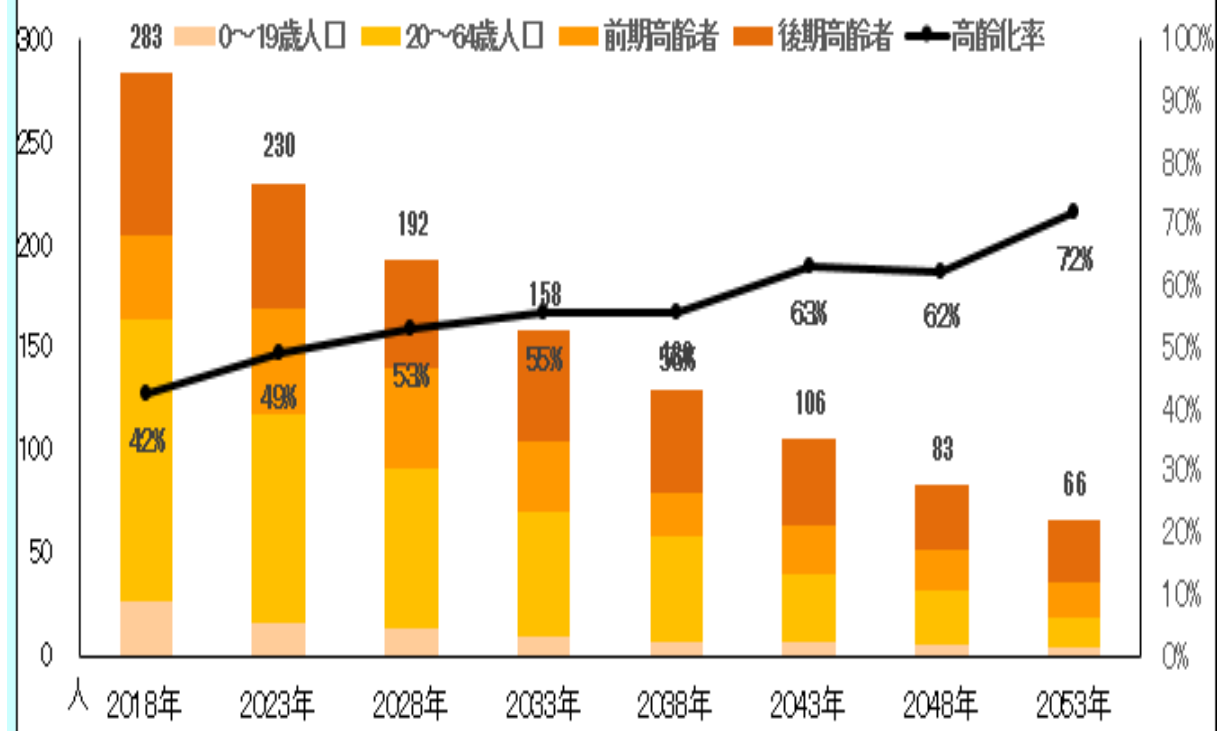
右図参照



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 種地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

- * 都市部(地区出身者)へ地域の魅力を発信(facebook、種だより、ふるさと便等)
- * 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- * 運動会等行事へのふるさと選手の参加要請
- * 担い手を育成する為、関係人口拡大を目指す
- * 自転車全国大会が開催される場合は支援と関係人口、交流人口の拡大協力
- * 農産加工品の商品開発と販路拡大
- * 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- * 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり
- * 空き家を利活用した、関係人口受入体制づくり
- * アグリ種との連携で、都市部からの農業体験からの交流人口増加を図る
- * 訪問型サービスD、通所型サービスBによる高齢者支援を拡大させている



【団体長メッセージ】

コロナも5類となり地区行事を行うことができる様になりましたが、未だマスクを外す事ができない状態です。行事開催も感染状況を見ながらとなり、参加者の数も減りました。人口減少で物事を止めるのではなく、できる事からできる様に実施することを模索し行っています。共に生きる地域として何が出来るかを考えながら、皆で参加できる地域づくりを続けたいと思います。

種公民館



島根県益田市種地区

⑤こんなことが話し合われています。



<農業振興>

- ・ 耕作放棄地が増加していき、比例して農業者が減っている問題を地区でどうするか？を話し合っています。
- ・ 外部団体との連携も模索し、関係・交流人口の取り組みを取り入れ、補助金等してもらいながら農業者育成に努める。



<災害対策>

- ・ 昨年度から大学の先生に有識者からの視点で種地区へ入ってもらいフィールド調査をしてきた事を今度は地元サイドで話し合い、地区に沿ったハザードマップを作り上げる流れを話し合います。
- ・ ドローンを導入し、空撮で避難経路を探す。



<高齢者・子ども支援>

- ・ 介護予防・日常生活総合事業訪問型サービスDの現状と問題点
- ・ 通所型サービスBについての取組み
- ・ 通院や買い物の要望などと地区ボランティア運転手の予定など調整



<定住対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで問題と解決を話し合い、問題定義された点を少しずつ解決の話し合いを進める。
- ・ 外部団体のリノベーション事業者とタイアップし、民泊制度も視野に勉強していく。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



自治組織内の農業振興部会「アグリ種」では、種まなびや工房にて種地区で収穫されたもち米を使用し、杵つき餅の販売をしています。

市内ではキヌヤさんのご協力の元、店頭販売を行い、商品のPRだけではなく、種地区の紹介もし、幅広く情報を広げています。そして、年末には種だよりを種出身者に配送している為、同封し正月の鏡餅なども注文を受け、全国発送にも展開している。

今では、毎年注文されるリピーター客も増えたり、市内の方々へもアグリ種のお餅などが浸透し始めている。

高齢者・子ども支援の取り組みは、各地区でも種地区は先進だと声が聞こえる。毎月毎週水曜日午後には、「高齢者サロン」を開催し、メニューも様々な事を取り入れ、100歳体操だけでない地区住民が「義務」でない参加型のサロンを提供している。今年度でB事業、D事業共に2年目を経過した。「継続は力なり」ではないが、徐々に浸透し始め、地区住民へこえが広がりつつあり、参加者も今では多いときは20人を超える。陽だまり茶屋で講演や体操するだけでなく、市外へ遠足に行ったり、食事に行ったり、地元高校生や保育園児らとふれあいをしたりと様々な企画で楽しんでいる。

定住に向けての対策は直接は関係ないかもしれませんが、種地区で毎年収穫している麦栽培を関係した定住・移住対策です。関係・交流人口の事業の一つで麦刈り作業を一緒に手伝ってもらうことから種地区を都市部の方々へアナウンスし、「また来てもらう」といった人数は少ないですが、地道な取り組みをしています。



【地域自治組織の所在地】

〒699-3503
 島根県益田市下種町1179-1
 種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)
 TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

お問い合わせ先

種公民館

